

# 謹賀新年

その声を市政に反映し  
未来を描く議会へ



甲賀市議会議長 谷永 兼二

「オール甲賀」で  
飛躍の年に



甲賀市長 岩永 裕貴

新年あけましておめでとうございます。  
皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
コロナ禍が長引く中でも、昨年の夏以降は国の行動制限もなくなり、市内では感染対策にご配慮をいただきながら、地域の賑わいや絆をとり戻すために、様々な行事や見守り等の地域活動を再開いただけてまいりました。ここに、改めて心より感謝を申し上げます。

また、昨年は市民皆様の多大なるご協力により、第72回全国植樹祭を成功裏に終えることができました。主会場を務めた責任を着実に果たしていただくため「環境未来都市宣言」の具現化など、本市は新たな時代に向けた一歩を踏み出します。

私ども、基礎自治体は、市民一人ひとりの生活の現場をお預かりしております。今般のような厳しい状況におかれても、医療や地域経済の下支えを図りながら、健康、福祉、教育など市民皆様の暮らしを守るため万全の対策を講じながら、一方で「変えるべきものは変える」など未来を切り開くため前例踏襲から脱却し果敢に挑戦していくことが求められています。

このことから、第2次総合計画第2期基本計画を着実に遂行するため、「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」のテーマに沿った事業に絶えず磨きをかけながら、引き続き重点的に進めてまいります。特に本年は、総合計画に掲げる目標人口の達成に向けた「新しい豊かさ」への挑戦、カーボンニュートラルへの実現に向けたGXやデジタル技術の活用によるDXの推進、こども・若者への支援、「選ばれるまち」となるため創意工夫と柔軟な発想や市民ファースト目線での事業構築、新型コロナや物価高騰へのきめ細やかな対策等に取り組んでいく所存でありますので一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、市民の皆様にとりまして、夢と希望に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、市議会に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月には本市を主会場に「第72回全国植樹祭」が開催され、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深め、自然の豊かさや木々の大切さを実感いたしました。

また、初のベスト8進出は逃したものの、スポーツを通じて元気と希望を与えてくれたサッカーワールドカップでの日本代表の活躍には、大変感動いたしました。

甲賀市議会におきましては、ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議、新型コロナウイルス感染症に係るすべての差別や偏見、誹謗中傷等の根絶に関する決議を行った年でもありました。

さて、急速な少子高齢化と人口減少に加え、自然災害や物価高騰、コロナ禍という未曾有の事態の中、これらの課題に正面から向き合うためには、オール甲賀で実効性のある施策に取り組んでいく必要があります。

市議会といたしましては、二元代表制の一翼を担う議決機関として、第2次総合計画の実現に向けた市の諸施策や環境未来都市宣言に基づく具体的な取り組み、目標達成などについて、真摯に議論を重ねて諸課題を解消し、未来を描く役割を果たしていかなければならないと考えております。そのためにも、強化した議会の広聴機能を活かし、市民の皆様との意見交換会などを通して、その声を市政に反映できるようにしてまいります。

市民の皆様には本年もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本年が飛躍の年となることを願うとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。